

2021

10/16 SAT

▶12/19 SUN

博覧会って

どんなイベント？

資料でたどる

明治大正期の 博覧会

熊谷直彦「山水之図」
(多摩市教育委員会蔵)

休館日／毎週月・水曜日、11月4日(木)、12月14日(火)

(※11月3日(水・祝)は開館)

開館時間／10時～16時

料金／入館無料

注意事項／ ○来館の際はマスク着用をお願いします。
○混雑を避けるため、人数制限を行う場合があります。
○新型コロナウイルス感染症の影響により、中止等となる場合があります。

問い合わせ先／

多摩市教育委員会教育振興課文化財係 TEL042-338-6883

旧多摩聖蹟記念館 多摩市連光寺5-1-1(都立桜ヶ丘公園内) TEL042-337-0900

旧多摩聖蹟記念館

資料でたどる 明治・大正期の博覧会

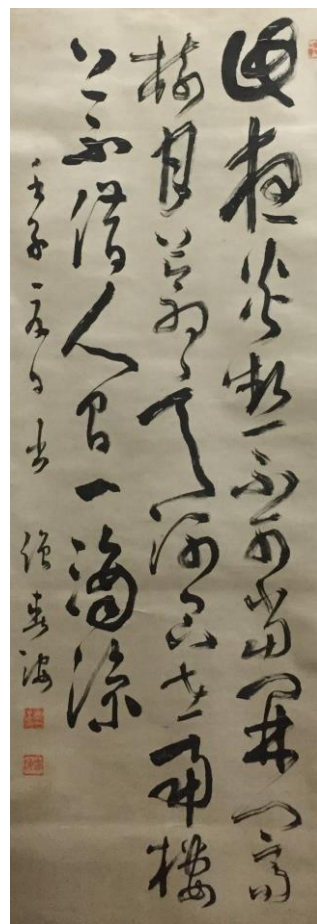
「博覧会」は、産業、科学技術、芸術文化などを新興して促進するために、様々な生産物や文化財を広く集めて展示し、人びとに見せる催しのことをいいます。

明治時代に入ると、殖産興業政策の一環として「博覧会」が数多く開催されるようになります。その中でも第一回から第五回まで続いた内国勧業博覧会、東京勧業博覧会、東京大正博覧会、そして平和記念東京博覧会の計八件の博覧会は、圧倒的な入場者数を誇り、大変な賑わいを見せました。これらはまさに、現代のオリンピックのような、時代を代表する一大イベントだったのです。

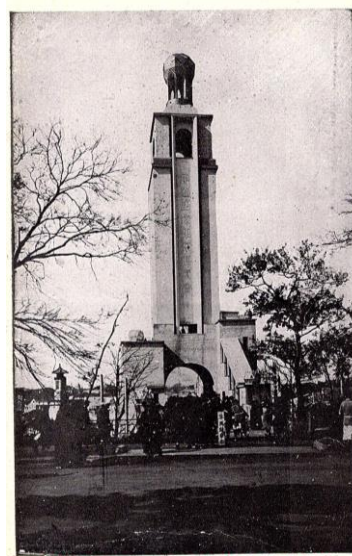
こうした博覧会への出品や入賞は、当時の人びとにとつての「あこがれ」でした。豊道春海や松本芳翠らの昭和期を代表する書家たちもまた、博覧会での入賞によって全国に名を響かせています。

本展で展示する熊谷直彦「山水之図」は、第四回内国勧業博覧会に出品され、のちに明治天皇の手元に移り、明治天皇御遺愛品として片山東熊に下賜されたものです。このように博覧会は、明治天皇や大正天皇をはじめ、皇族たちともゆかりのある催しでした。彼らはしばしば博覧会に行幸し、イベントに華を添えています。

連光寺の名主・富澤家には博覧会にまつわる資料が数多く伝わっています。それらの中には絵葉書や「東京勧業博覧会開会式会場略図」など、当時の様子が窺える資料があります。本展ではこれらの博覧会に関連する資料と博覧会出品者たちの作品とを併せて紹介し、明治・大正期の博覧会のリアルなすがたに迫ります。



豊道春海「七言絶句」(個人蔵)



「平和記念東京博覧会絵葉書」
(多摩市教育委員会蔵)



「東京大正博覧会絵葉書」(多摩市教育委員会蔵)



中林儼「聖蹟記念館」(多摩市教育委員会蔵)

【交通案内】

- 京王線聖蹟桜ヶ丘駅から聖ヶ丘団地經由永山駅行バス「記念館前」下車徒歩5分
- 京王相模原線・小田急多摩線永山駅から聖ヶ丘団地經由聖蹟桜ヶ丘行バス「記念館前」下車徒歩5分
- 車で来館される場合は、都立桜ヶ丘公園駐車場(無料)をご利用ください。

